

多職種連携が強みの自立支援

◇多職種協働による確かな支援

ご利用者の担当介護支援専門員が作成するケアプランに基づき、生活相談員・介護職員・看護職員・機能訓練指導員・管理栄養士が協働で取り組むことで、ご利用者の「自分らしい生活」に向けた確かな支援を提供します。

機能訓練指導員による個別機能訓練



心身機能・活動・参加といった生活機能の維持・向上を目的として実施しています。リハビリ職の資格を有する機能訓練指導員等が自宅に訪問し実際の生活動作を把握します。目指すべき具体的な生活動作を明確にし、維持・向上を目指し取り組みます。

多職種協働による脳と身体の活性化

脳トレや頭と身体を使ったゲーム形式のレクリエーションで、普段使われていない脳機能や身体機能の維持向上が期待できます。低栄養のリスクが高い方には、管理栄養士より食事の面からの健康維持を提案させていただきます。



◇落ち着いた環境での認知症ケア（認知症対応型通所介護）



認知症について専門的な知識を持つ職員が、脳トレや簡単な運動、楽しく参加できる活動を提供しています。通常型よりも厚い人員配置で、よりご本人の気持ちに寄り添うことができます。居心地が良く、安心できる専用の部屋（十色の部屋）で、ご本人のペースで過ごすことができるサービスです。

毎日、歌う「デイサービスのうた」は、職員が作詞・作曲したオリジナル曲で、ずっと歌い継がれています。

